




ふりがな氏名	ほんだ あきこ 本田 朗子	都道府県	東京都
所属/肩書	タカハタプレジジョン株式会社グローバル CSR 統括部門 / コーポレート部門 ユニット2 (人事・企画・総務)		
関心・活動のSDGs	  		
私のESD活動	持続可能な社会に貢献する事業活動へシフトする為の社内教育および社外ステークホルダーとの関係構築		
活動の概要			
<p>私は、グループ全体のCSR活動を牽引しながら、自社の理念の1つである「人財」の育成に力を入れている。具体的には、KPI活動、COP (Communication on Progress) の作成を通して、従業員の意識の醸成に努めてきた。また、地域との関係構築にも力を入れてきた。まず、KPI活動およびCOPの作成に関しては、国内拠点から先導し、2017年に全拠点へ活動を展開したことが大きな成果である。KPI活動では、環境に関わる数値の継続管理を行っているが、その中で、ビジネスと環境問題がどう関わっているのかを従業員に納得してもらい、行動に移すまでを支援することに尽力した。現在は、目標に対して積極的な削減活動が進んでいる。COPに関しても、同じ条件下でデータを収集するために、自社の情報開示の意義やメリットなどを共有しながら、毎年精度を上げている。また、子供の貧困を支援する認定NPO法人(フードバンク山梨)と食品協賛企業としての連携実績がある。これらの成果物がもたらす社会への影響は、まだまだ大きいとは言えない。</p> <p>今後の活動のポイントは、社外ステークホルダーとのイノベーションにある。まずは、自社と関係の深いサーキュラーエコノミーや海洋プラスチックなどの環境トピックスを皮切りにして、社内外のステークホルダーとのエンゲージメントを増やし、持続可能な社会の実現を推進していきたい。同時に、新たなコミュニティから得られるアイデアやノウハウを自社の「人財」育成につなげていきたい。</p> <p>・タカハタプレジジョン株式会社 HP https://www.takahata.biz/jp/sustainability/activity/</p>			
私が考える教育の未来像			
<p>人々は、日々の充実感や楽しさが付随し、「生きがい」や「働きがい」のある豊かな人生を送りたいと願っているが、現実的にはそのような余裕はない。このような環境に置かれては、持続可能や社会課題など直接自身に影響を及ぼさない内容は後回しになる。この状況は社内教育でも痛感している。故に、単なる一方的な伝達ではなく、「楽しい」教育でなければならない。楽しさは、誰かと何かを共有し活動する「コミュニティ」から容易に生み出される。全ての人が主役となり、他者と協力する場を設け、行動の変化を促すことが人々の積極性に火をつける。これが、今後の教育の中心となる。そのような教育現場をユース世代と一緒に作り上げていきたい。</p>			
私の強み、活かせる経験やスキル			
<p>まず、自身が置かれている環境面からは、自社のCSRを推進する部門に所属している為、今回の経験や今後の協働を素早く社内展開することができ、個人ではなく会社を通じた協業(Win-Win 関係)への発展も期待できるというメリットがある。さらに、私が掲げる強みは、以下の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外拠点を含めた運営を行っているので、グローバルでの取り組みが実施できる(拡散範囲が広く、原動力が大きい)。 2. 積極的に必要な知識を学んでいる(SDGs や CSR に関するセミナーへの参加など)ため、自社や社会の課題を分析し、解決に向けてアクションを起こすことができる(新しい情報に素早く反応できる)。 3. 教育する立場である(伝達の間がある)。 			